

大阪市立東中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

校区は、旧東区全域と広く、住居は主に校区東側に多い。また、校区には、タワーマンション等が建設され、校区4小学校はいずれも児童数増のため校舎増築を終え、本校も生徒数急増の時期を迎え、3年に及ぶ工事を終えた新校舎の竣工を昨年度に迎えたところである。生徒は全体的に落ち着いた状況の中で学校生活を送っており、日頃より創意工夫して教育活動に取り組み、学力・体力の面では各種調査でしっかりとした結果を記録している。

しかし、近年、保護者の価値観が多様化するとともに、生活指導面では、より一層きめ細かな対応及び関係諸機関との連携が求められている。たとえば、本校に通学する生徒の家庭環境をみると、比較的裕福な家庭が多いが、中には基本的な生活習慣を身につけることができず、遅刻・欠席を繰り返すケースや宿題など課題の提出日を守れない生徒も見受けられる。また、中国を中心に、海外から日本語が全く分からない状態で編入学してくる生徒が、いずれの学年にも在籍しており、その流れは一年を通してみられる状況である。一方で、他者とのコミュニケーションに苦手意識を持つ生徒も散見されており、その中で休みがちになる生徒やHSCの生徒の増加が危惧されるところである。

いずれにしても、一人ひとりの生徒が自尊感情を高め、豊かな心の育成を通して、自分に自信と誇りをもち、進路決定に導くことが求められる。また、「HER(東エンパワメントルーム)」、「SAR(通級指導教室)」などを充実させることも求められる。さらに、スクールカウンセラー、こども相談センター、区役所子育て支援室などの関係諸機関とも連携を密にし、個に応じた指導に努めていく必要がある。

しかしながら、生徒指導主事を始め学級担任においては、日々の教育活動に忙殺され、時間的な余裕がなく根本的な解決には至っていないケースもあり、働き方改革と並行して課題解決に向けて進めなければならない状況にある。

【安全・安心な教育の推進】**全市共通中期目標**

1. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と答える生徒の割合を88%以上にする。
2. 令和7年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を令和3年度より減少させる。
3. 令和7年度末の校内調査において、令和3年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

※ 前年度不登校であった生徒のうち不登校の状態が解消された、または不登校状態であっても次の1～3に該当しているなど、総合的な判断により不登校の状態が改善されたとする人数を把握

※ 改善とは、次の状態の場合をいう。(複数に該当する場合は、最も顕著な項目を選択する。)

- 1 出席日数の増(学校内外でICT等を活用した学習活動を行うことによる出席認定含む)
- 2 ICTの活用による、本人・保護者と学校がつながる回数が増えた。
- 3 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった。

学校園の中期目標

1. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「より良い人間関係を築くために努力している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を67%以上にする。
2. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を66%以上にする。
3. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「災害に対して意識的に備えている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を43%以上にする。
4. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「教育相談や進路懇談などで、気軽に相談しやすい先生がいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を50%以上にする。
5. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「豊かな心や人権の大切さについて学んでいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を65%以上にする。
6. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「将来の進路や生き方について考えたことがある」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を60%以上にする。
7. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「読書の習慣が身につく、本を読むことが好きになった」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を42%以上にする。
8. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「参観等の各種行事やPTA活動などを通じて、学校教育活動に参加しようとしている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える保護者の割合を33%以上にする。また、令和7年度の学校生活アンケートにおける「学校行事やPTA活動、部活動等の場面で、保護者や地域に関わる取組を行っている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を58%以上にする。
9. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「学校の様子は、ホームページや学年だよりなどでよく知ることができる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える保護者の割合を68%以上にする。
10. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「図書館開館や学習会など学校元気アップの取組に参加している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を22%以上にする。
11. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「特別支援学級に在籍する生徒について、通常学級の一員として他の生徒と共に活動できるよう配慮している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を78%にする。
12. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「鑑賞や体験学習を通じて、芸術や伝統文化のすばらしさや大切さを感じることができた」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を53%以上にする。
13. 令和7年度性教育事後アンケートにおける「性教育で大切なことを学んだと思う」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を63%以上にする。
14. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「交通ルールを守ったり外出の仕方を考えるなど、犯罪や事故などに巻き込まれないよう安全を意識して生活している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を63%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通中期目標

1. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「学校の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と答える生徒の割合を53%以上にする。
2. 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.04ポイント向上させる。
3. 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を63%以上にする。
4. 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える生徒の割合を56%以上にする。

学校園の中期目標

1. 令和7年度学校生活アンケートにおける「習熟度別少人数授業の授業はわかりやすい」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を49%以上にする。
2. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「思考力・判断力・表現力・読解力の育成のため、言語活動を取り入れるなど授業改善に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を73%以上にする。
3. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「調べ学習や資料提示等を通じて、学校図書館を活用した授業づくりを進めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を28%以上にする。
4. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「英語の授業でのアクティビティに積極的に取り組んでいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を53%以上にする。
5. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「学校は1人1台端末などのICT機器を活用した学習活動の実践に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を73%以上にする。
6. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「技術・家庭科技術分野の授業におけるプログラミング学習において、論理的に考えるための手順を学ぶことができた」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を58%以上にする。
7. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「帰国・来日等の生徒や外国にルーツのある生徒が学校生活を円滑に送れるよう、日本語指導をはじめとする直接的な支援をするとともに、違いを尊重し認め合えるよう配慮しながら教育活動を進めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を68%以上にする。
8. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「体力や運動能力向上のため、保健体育の授業に積極的に取り組んでいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を68%以上にする。
9. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりし、健康に気をつけている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を72%以上にする。
10. 令和7年度の学校生活アンケートにおける「栄養バランスや食べる時間・量等を考えて食事をするように心がけている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を42%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通中期目標

1. ICT の活用に関する目標を設定する。
 - ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「学校は 1 人 1 台端末などの ICT 機器を活用した学習活動の実践に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 73%以上にする。
 - ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「インターネットや SNS を正しく安全に利用することができる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 72%以上にする。
 - ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「学校はいじめ・不登校などの防止対策として ICT を活用している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 72%以上にする。
 - ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「学校の様子は、ホームページや学年だよりなどでよく知ることができる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える保護者の割合を 59%以上にする。
2. 教職員の働き方改革に関する目標を設定する。
 - ・4～11 月の 8 か月間において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の時間外勤務時間に関して（基準 2）を満たす教員の割合を 35%以上にする。
 - ・教員の時間外勤務時間について、45h 未満…Lv0、45h～60h…Lv1、60h～80h…Lv2、80h～100h…Lv3、100h 以上…Lv4 と設定し、令和 7 年度の 4 月～11 月までの 8 か月間の時間外勤務時間において、教員全体で Lv4 を 0 回にするとともに Lv3 と Lv4 の合計の割合を 18%以下にする

【その他】

学校園の中期目標

1. 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「校内研修は教育実践に役立つ有益なものとなっている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 55%にする。
2. 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「校区小学校と連携する機会を設け、小中の円滑な接続に努めるとともに、学習活動や生活指導等の場面で活用している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 45%にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

1. 年度末の校内調査における、不登校生徒の在籍比率を令和3年度(7.8%)より減少させる。
(安全・安心な教育環境の充実)
2. 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と答える生徒の割合を88%以上にする。
3. 今年度末の校内調査において、令和3年度不登校生徒の改善の割合(22%)を増加させる。
※ 前年度不登校であった生徒のうち不登校の状態が解消された、または不登校状態であっても次の1～3に該当しているなど、総合的な判断により不登校の状態が改善されたとする人数を把握
※ 改善とは、次の状態の場合をいう。(複数に該当する場合は、最も顕著な項目を選択する。)
 - 1 出席日数の増（学校内外でICT等を活用した学習活動を行うことによる出席認定含む）
 - 2 ICTの活用による、本人・保護者と学校がつながる回数が増えた。
 - 3 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった。
4. 今年度の学校生活アンケートにおける「より良い人間関係を築くために努力している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を67%以上にする。
5. 今年度の学校生活アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を66%以上にする。
6. 今年度の学校生活アンケートにおける「災害に対して意識的に備えている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を44%以上にする。
7. 今年度の学校生活アンケートにおける「教育相談や進路懇談などで、気軽に相談しやすい先生がいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を50%以上にする。
8. 今年度の学校生活アンケートにおける「豊かな心や人権の大切さについて学んでいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を71%以上にする。
9. 「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合(%)を72%以上にする。【全国学力・学習状況調査】（豊かな心の育成）
10. 今年度の学校生活アンケートにおける「将来の進路や生き方について考えたことがある」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を61%以上にする。
11. 今年度の学校生活アンケートにおける「読書の習慣が身につく、本を読むことが好きになった」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を42%以上にする。
12. 今年度の学校生活アンケートにおける「参観等の各種行事やPTA活動などを通じて、学校教育活動に参加しようとしている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える保護者の割合を33%以上にする。また、今年度の学校生活アンケートにおける「学校行事やPTA活動、部活動等の場面で、保護者や地域に関わる取組を行っている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を71%以上にする。
13. 今年度の学校生活アンケートにおける「学校の様子は、ホームページや学年だよりなどでよく知ることができる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える保護者の割合を68%以上にする。
14. 今年度の学校生活アンケートにおける「学校元気アップによるお昼や放課後の図書館開館や学習会など学校元気アップの取組に参加している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を22%以上にする。
15. 今年度の学校生活アンケートにおける「特別支援学級に在籍する生徒について、通常学級の一員として他の生徒と共に活動できるよう配慮している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を92%にする。
16. 今年度の学校生活アンケートにおける「鑑賞や体験学習を通じて、芸術や伝統文化のすばらしさや大切さを感じることができた」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を59%以上にする。

17. 今年度の学校生活アンケートにおける「性教育で大切なことを学んだと思う」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 63%以上にする。
18. 今年度の学校生活アンケートにおける「交通ルールを守ったり外出の仕方を考えるなど、犯罪や事故などに巻き込まれないよう安全を意識して生活している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 69%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

1. 大阪市英語力調査における **CEFR A1 レベル（英検 3 級）相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 83%以上にする。【本市調査（大阪市英語力調査）】（誰一人取り残さない学力の向上）**
2. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における **体力合計点の対全国比を男女とも前年度より 0.02 ポイント向上させる。【全国体力運動能力、運動習慣等調査】（健やかな体の育成）**
3. 今年度の学校生活アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と答える生徒の割合を 54%以上にする。
4. 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.04 ポイント向上させる。
5. 今年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える生徒の割合を 56%以上にする。
6. 今年度学校生活アンケートにおける「習熟度別少人数授業の授業はわかりやすい」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 56%以上にする。
7. 今年度の学校生活アンケートにおける「思考力・判断力・表現力・読解力の育成のため、言語活動を取り入れるなど授業改善に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 73%以上にする。
8. 今年度の学校生活アンケートにおける「調べ学習や資料提示等を通じて、学校図書館を活用した授業づくりを進めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 43%以上にする。
9. 今年度の学校生活アンケートにおける「英語の授業でのアクティビティに積極的に取り組んでいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 58%以上にする。
10. 今年度の学校生活アンケートにおける「学校は 1 人 1 台端末などの ICT 機器を活用した学習活動の実践に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 73%以上にする。
11. 今年度の学校生活アンケートにおける「技術・家庭科技術分野の授業におけるプログラミング学習において、論理的に考えるための手順を学ぶことができた」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 63%以上にする。
12. 今年度の学校生活アンケートにおける「帰国・来日等の生徒や外国にルーツのある生徒が学校生活を円滑に送れるよう、日本語指導をはじめとする直接的な支援をするとともに、違いを尊重し認め合えるよう配慮しながら教育活動を進めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 78%以上にする。
13. 今年度の学校生活アンケートにおける「体力や運動能力向上のため、保健体育の授業に積極的に取り組んでいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 72%以上にする。
14. 今年度の学校生活アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりし、健康に気を付けている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 72%以上にする。
15. 今年度の学校生活アンケートにおける「栄養バランスや食べる時間・量等を考えて食事をするように心がけている。」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 50%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

1. 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の半数を超える。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕（教育 DX の推進）
2. 教員の勤務時間の上限に関する基準（基準2）を満たす教職員の割合（%）を54%以上にする。
【本市独自調査】（人材の確保・育成としなやかな組織づくり）
3. ICT の活用に関する目標を設定する。
 - ・今年度の学校生活アンケートにおける「学校は1人1台端末などの ICT 機器を活用した学習活動の実践に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を73%以上にする。
 - ・今年度の学校生活アンケートにおける「インターネットや SNS を正しく安全に利用することができる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を72%以上にする。
 - ・今年度の学校生活アンケートにおける「学校はいじめ・不登校などの防止対策として ICT を活用している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を72%以上にする。
 - ・今年度の学校生活アンケートにおける「学校の様子は、ホームページや学年だよりなどでよく知ることができる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える保護者の割合を59%以上にする。
4. 教職員の働き方改革に関する目標を設定する。
 - ・ゆとりの日を月1回程度設定し、この日の時間外勤務時間を可能な限り減らす。
 - ・4～11月の8か月間において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の時間外勤務時間に関して（基準2）を満たす教員の割合を54%以上にする。
 - ・令和7年度の4月～11月までの8か月間の時間外勤務時間において、教員全体でLv4の割合を前年度より半減させるとともにLv2以上の月のある教員一人一人が前年度の各月の時間外勤務時間のレベルを下げる月の回数を増やす。

【その他】

1. 今年度の学校生活アンケートにおける「校内研修は教育実践に役立つ有益なものとなっている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を64%以上にする。
2. 今年度の学校生活アンケートにおける「校区小学校と連携する機会を設け、小中の円滑な接続に努めるとともに、学習活動や生活指導等の場面で活用している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を64%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

学校園の年度目標

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

学校園の年度目標

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

学校園の年度目標

【その他】

学校園の年度目標

大阪市立東中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>1. 年度末の校内調査における、不登校生徒の在籍比率を令和3年度(7.8%)より減少させる。 (安全・安心な教育環境の充実)</p> <p>2. 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と答える生徒の割合を88%以上にする。</p> <p>3. 今年度末の校内調査において、令和3年度不登校生徒の改善の割合(22%)を増加させる。 ※ 前年度不登校であった生徒のうち不登校の状態が解消された、または不登校状態であっても次の1～3に該当しているなど、総合的な判断により不登校の状態が改善されたとする人数を把握 ※ 改善とは、次の状態の場合をいう。(複数に該当する場合は、最も顕著な項目を選択する。)</p> <p>1 出席日数の増(学校内外でICT等を活用した学習活動を行うことによる出席認定含む)</p> <p>2 ICTの活用による、本人・保護者と学校がつながる回数が増えた。</p> <p>3 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった。</p> <p>4. 今年度の学校生活アンケートにおける「より良い人間関係を築くために努力している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を67%以上にする。</p> <p>5. 今年度の学校生活アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を66%以上にする。</p> <p>6. 今年度の学校生活アンケートにおける「災害に対して意識的に備えている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を44%以上にする。</p> <p>7. 今年度の学校生活アンケートにおける「教育相談や進路懇談などで気軽に相談しやすい先生がいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を50%以上にする。</p> <p>8. 今年度の学校生活アンケートにおける「豊かな心や人権の大切さについて学んでいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を71%以上にする。</p> <p>9. 「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合(%)を72%以上にする。【全国学力・学習状況調査】(豊かな心の育成)</p> <p>10. 今年度の学校生活アンケートにおける「将来の進路や生き方について考えたことがある」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を61%以上にする。</p> <p>11. 今年度の学校生活アンケートにおける「読書の習慣が身につく、本を読むことが好きになった」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を42%以上にする。</p> <p>12. 今年度の学校生活アンケートにおける「参観等の各種行事やPTA活動などを通じて、学校教育活動に参加しようとしている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える保護者の割合を33%以上にする。また、今年度の学校生活アンケートにおける「学校行事やPTA活動、部活動等の場面で、保護者や地域に関わる取組を行っている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を71%以上にする。</p> <p>13. 今年度の学校生活アンケートにおける「学校の様子は、ホームページや学年だよりなどでよく知ることができる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える保護者の割合を68%以上にする。</p> <p>14. 今年度の学校生活アンケートにおける「学校元気アップによるお昼や放課後の図書館開館や学習会など学校元気アップの取組に参加している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を22%以上にする。</p>	

<p>15. 今年度の学校生活アンケートにおける「特別支援学級に在籍する生徒について、通常学級の一員として他の生徒と共に活動できるよう配慮している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 92%にする。</p> <p>16. 今年度の学校生活アンケートにおける「鑑賞や体験学習を通じて、芸術や伝統文化のすばらしさや大切さ感じることができた」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 59%以上にする。</p> <p>17. 今年度の学校生活アンケートにおける「性教育で大切なことを学んだと思う」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 63%以上にする。</p> <p>18. 今年度の学校生活アンケートにおける「交通ルールを守ったり外出の仕方を考えるなど、犯罪や事故などに巻き込まれないよう安全を意識して生活している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 69%以上にする。</p>	
--	--

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 (教務部)	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 2 豊かな心の育成】(学-7)</p> <p>教科授業だけでなく様々な活動の中で、コミュニケーション活動を取り入れた内容を実施する。また、読書活動を充実させるため、朝読書の習慣化、図書室を利用した授業を実施する。言語力の育成に向け、表現活動や「学び合い」の機会を増やす。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 7 年度の学校生活アンケートにおいて「読書の習慣が付き、本を読むことが好きになった」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を全体の 42%以上にする。 令和 7 年度の学校生活アンケートにおいて「自分の意見をまとめたり、発表したりする機会がよくある」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を昨年度と同等 (36%) 以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について</p> <p>・</p> <p>【取組内容】について</p> <p>・</p>	
今後への改善点	
<p>【目標設定】について</p> <p>・</p>	

<p>取組内容②【基本的な方向 2 豊かな心の育成】(学-12)</p> <p>体験的な学習や表現・発表する取り組みを設定し、また、実験・実習を積極的に取り入れるなど生徒の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習を実施する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「鑑賞行事や体験学習を通じて、芸術や伝統文化のすばらしさや大切さを感じることができた」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を59%以上にする。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおいて「実験、観察、実習などの授業に、興味を持って参加している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を昨年度と同等(57%)以上にする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【年度目標】について</p> <p>・</p> <p>【取組内容】について</p> <p>・</p>	
<p>今後への改善点</p>	
<p>【目標設定】について</p> <p>・</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】(学-10)</p> <p>地域の施設及び人材活用を積極的に行い、それらを取り入れた学習活動を充実する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校元気アップ地域本部事業において、令和7年度はPTAや地域・学生等のボランティアの数を20名以上集める。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「学校元気アップによるお昼や放課後の図書館開館や学習会など学校元気アップの取組に参加している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を22%以上にする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【年度目標】について</p> <p>・</p> <p>【取組内容】について</p> <p>・</p>	
<p>今後への改善点</p>	
<p>【目標設定】について</p> <p>・</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（生活指導部）	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全で安心な教育環境の実現】（市－2・3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任会、生活指導部会で不登校生については、その対応策について常に議論し具体的な対応策のもとに学年、生活指導部の連携を軸とした組織的対応を心がける。また「不登校対策委員会」をさらに充実させる。 ・学年ごとに迅速かつ正確に実態把握を行うとともに、情報交換を充実させる。生徒指導主事、学年主任、担任など、常に複数の教職員で実態に沿った課題の解決に向け協議し、決定した内容を確実に遂行する。 ・課題の解決に向けて、関係諸機関とも積極的に連携をする。 ・諸会議における不登校生の報告を行う際に、現状のみではなく、現状と対応状況をあわせて報告するよう意識をする。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の学年打ち合わせ、または主任会、生活指導部会において、不登校生徒の状況について報告し具体的な支援、対応策を明確に示し対応にあたる。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「不登校生徒への対応については、家庭訪問や定期的な連絡で家庭と連携しながら改善をめざしている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を78%以上にする。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「不登校生徒について、教職員が協力して、組織的に指導に当たれるよう、体制の充実に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を69%以上にする。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「充実した学校生活を過ごせている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を62%以上にする。 ・令和7年度末の校内調査において新たに不登校になる生徒の割合を前年度(3.62%)より減少させる。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【取組内容】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
今後への改善点	
<p>【目標設定】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全で安心な教育環境の実現】（学－2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活を通じて、日常的に全教職員で集団規律の確立を心がけ、あいさつ・適切な言葉遣い・服装・頭髪等の生徒の規範意識を育む指導を継続的に取り組む。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「教職員は共通理解を図り、生徒にきまりを守り、節度ある生活態度を身につけさせる生徒指導を行っている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を77%以上にする。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「あいさつ指導や服装・頭髪指導を行うなど、生徒の規範意識の向上をめざしている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える 	

<p>教職員の割合を 77%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「登校指導に少しでも参加するよう努力している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 65%以上にする。 ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 66%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【取組内容】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
今後への改善点	
<p>【目標設定】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
<p>取組内容③【基本的な方向 1 安全で安心な教育環境の実現】(市－1 学－5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の生徒観察と定期的の実態把握アンケートを実施し、いじめの早期発見に努める。 ・アンケートを形骸化させないことを心がけ、アンケート結果は全校集会等で生徒に公表し、生徒が相談しやすい環境の構築を図る。 ・道徳教育を通じて内面的な指導を積極的に行う。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談を年 2 回以上実施する。 ・東中学校「いじめアンケート」に基づく道徳教育を実施する。 ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 86%以上にする。 ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「豊かな心や人権の大切さについて学んでいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 71%以上にする。 ・令和 7 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。 ・令和 7 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数(前年度 0 人)を維持する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【取組内容】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
今後への改善点	
<p>【目標設定】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
<p>取組内容④【基本的な方向 1 安全で安心な教育環境の実現】(学－14)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所轄警察署による交通安全教室を年 1 回以上実施する。 ・全国的に年 2 回実施される「春・秋の交通安全週間」の前後、または各学期末に全校集会等で交通安全についての講話を行い、交通安全や交通ルールを順守する態度を養う。 	

指標	
・令和7年度の学校生活アンケートにおける「交通ルールを守ったり外出の仕方を考えたりするなど、犯罪や事故などに巻き込まれないよう安全を意識して生活している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を64%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について	
・	
【取組内容】について	
・	
今後への改善点	
【目標設定】について	
・	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（東エンパワーメントルーム）		進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全で安心な教育環境の実現】（市－2・3）</p> <ul style="list-style-type: none">・主任会、生活指導部会で不登校生については、その対応策について常に議論し具体的な対応策のもとに学年、生活指導部の連携を軸とした組織的対応を心がける。また「不登校対策委員会」をさらに充実させる。（再掲）・学年ごとに迅速かつ正確に実態把握を行うとともに、情報交換を充実させる。生徒指導主事、学年主任、担任など、常に複数の教職員で実態に沿った課題の解決に向け協議し、決定した内容を確実に遂行する。（再掲）・課題の解決に向けて、関係諸機関とも積極的に連携をする。（再掲）・諸会議における不登校生の報告を行う際に、現状のみではなく、現状と対応状況をあわせて報告するよう意識をする。（再掲）		
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・日々の学年打ち合わせ、または主任会、生活指導部会において、不登校生徒の状況について報告し具体的な支援、対応策を明確に示し対応にあたる。（再掲）・令和7年度の学校生活アンケートにおける「不登校生徒への対応については、家庭訪問や定期的な連絡で家庭と連携しながら改善をめざしている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を55%以上にする。（再掲）・令和7年度の学校生活アンケートにおける「不登校生徒について、教職員が協力して、組織的に指導に当たれるよう、体制の充実に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を49%以上にする。（再掲）・令和7年度の学校生活アンケートにおける「充実した学校生活を過ごせている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を62%以上にする。（再掲）・令和7年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度(3.62%)より減少させる。（再掲）		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について		
・		

【取組内容】について ・
今後への改善点
【目標設定】について ・

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（健康教育部）		進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全で安心な教育環境の実現】（学-3） 防災に関する知識を深め、予防意識を高める。		
指標 ・ 令和7年度の学校生活アンケートにおける「災害に対して意識的に備えている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を44%以上にする。（43%） ・ 避難訓練を年2回実施する。全学年防災に関する資料等を使い、災害に対して備える意識を生徒に持たせる。また、消防署と連携し防災教育の体験を実施する。 ・ 地震に伴う避難訓練では、グラウンドへ避難し点呼終了までにかかる時間を、5分36秒以内におさめる。（5分37秒） ・ 火災に伴う避難訓練では、点呼終了までにかかる時間を5分31秒以内におさめる。（5分32秒）		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・		
今後への改善点		
【目標設定】について ・		
取組内容②【基本的な方向1 安全で安心な教育環境の実現】（学-1） 日常の清掃活動を充実させ、自ら進んで校内美化に取り組む態度を養う。		
指標 ・ 月1回美化点検を行い、取り組んだ結果を美化委員に確認させる。 ・ 学期に1回清掃用具点検活動を美化委員を中心に行う。 ・ 令和7年度の学校生活アンケートにおける「美化活動（清掃活動）に、積極的に取り組んでいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を59%以上にする。（58%） ・ 令和7年度の学校生活アンケートにおける「清掃活動は行き届いている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」答える教職員の割合を、52%以上にする。（51%）		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・ 【取組内容】について		

・	
今後への改善点	
【目標設定】について	
・	
取組内容③【基本的な方向 2 豊かな心の育成】(学-13)	
性教育の系統立てた指導を実施する。	
指標	
・ 性について考え、自己の生き方を考える意識の向上をめざすために、各学年 3～4 時間の授業を実施する。	
・ 取組後の事後アンケートにおける「性教育で大切なことを学んだと思う」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 60%以上にする。(59%)	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について	
・	
【取組内容】について	
・	
今後への改善点	
【目標設定】について	
・	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 (人権道徳委員会)	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 2 豊かな心の育成】(学—1 学—5)	
道徳の年間指導計画を作成し、授業時数の確保に努める。また、各学年で道徳の実践記録を作成し、生徒の課題に応じて適切に授業内容を充実させる。	
指標	
・ 道徳の授業時数が、年間で 35 時間を越えるように計画し、実践する。	
・ 各学年で道徳教科書の読み物教材を漏れなく行い、ワークシート・道徳ノートを使用し、適切な文章表記による評価を行う。	
・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「道徳教育は、年間指導計画に基づき、継続的に行っている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 72%以上にする。	
・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「命の大切さや社会のルールについて学んでいる」に対して最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 72%以上にする。	
・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「より良い人間関係を築くために努力している」に対して最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 64%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について	
・	
【取組内容】について	
・	

今後への改善点	
【目標設定】について	
・	
取組内容②【基本的な方向 2 豊かな心の育成】(学—1 学—5) 豊かな人権感覚の育成をめざし、人権学習の指導計画を作成する。前後期に集中実践を行い、授業展開を工夫して内容の充実を図る。	
指標	
<ul style="list-style-type: none"> ・人権学習の年間指導計画を作成し、前後期に各学年で2回集中実践を行う。 ・体験学習や外部講師の招聘、視聴覚教材の活用等を行う。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおいて「人権教育の推進に努め、生徒が命の尊さや社会のルールについて学ぶ教育活動を推進している」に対して最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を65%以上にする。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおいて「豊かな心や人権の大切さについて学んでいる」に対して最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を昨年度(70%)と同等以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について	
・	
【取組内容】について	
・	
今後への改善点	
【目標設定】について	
・	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 (特別支援教育委員会)	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 2 豊かな心の育成】(学—11) 「個別の教育支援計画」の作成にあたっては、保護者との面談を行い、個々の障がいの状態等を踏まえたうえで計画を立てる。また、合理的配慮の観点から、特別支援学級に在籍する生徒の困っていることや、求めていることを知り、支援する。	
指標	
・学期に1回、保護者及び関係諸機関等と連携し、必要に応じて加筆・修正する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について	
・	
【取組内容】について	
・	
今後への改善点	
【目標設定】について	
・	

<p>取組内容②【基本的な方向 2 豊かな心の育成】(学-11)</p> <p>「個別の指導計画」について、学期ごとに目標を定め、生徒の自立に向けて支援する。</p>	
指標	・学期に1回、保護者と目標の達成状況を共有する。
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について</p> <p>・</p> <p>【取組内容】について</p> <p>・</p>	
今後への改善点	
<p>【目標設定】について</p> <p>・</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 2 豊かな心の育成】(学-11)</p> <p>特別支援教育委員会において、通常学級担任・特別支援学級担任・通級による指導の担当者や教務主任・生徒指導主事も含めて生徒の情報を共有する。</p>	
指標	<p>・2か月に1回、特別支援教育委員会を実施し、生徒の状況について情報を交換する。</p> <p>・令和7年度の学校生活アンケートにおける「特別支援学級に在籍する生徒について、通常学級の一員として他の生徒と共に活動できるよう配慮している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を76%以上にする。</p>
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について</p> <p>・</p> <p>【取組内容】について</p> <p>・</p>	
今後への改善点	
<p>【目標設定】について</p> <p>・</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 (通級による指導)		進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の充実】(市-2・3)</p> <p>生徒一人一人に寄り添った不登校要因への対応及びICTを活用した学習機会の確保。</p>		
指標	<p>1. 通級による指導を受けている長期欠席の生徒の状態を改善する。</p> <p>2. 令和7年度の本校における不登校生徒の在籍比率を昨年度(7.92%)より減少させる。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
<p>【年度目標】について</p> <p>・</p> <p>【取組内容】について</p> <p>・</p>		

今後への改善点	
【目標設定】について ・	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の充実】 発達障がい起因する「登校渋り」が見られる生徒やその保護者、学級担任に対する通級による指導の周知、啓発。	
指標 令和7年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度(3.62%)より減少させる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について ・	
【取組内容】について ・	
今後への改善点	
【目標設定】について ・	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（進路）		進捗状況
取組内容①【基本的な方向 8 生涯学習の支援】（学-6） 3年間を見通した指導計画を立て、生徒自らが個性を伸ばし、自己実現をめざしてその生き方を考え、将来に対する目的意識をもって、主体的に進路選択ができるようにする。		
指標 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「進路決定に際しては、自分の気持ちを大切に して、主体的に考えている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合 を 58%以上にする。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・		
今後への改善点		
【目標設定】について ・		
取組内容②【基本的な方向 8 生涯学習の支援】（学-4） 進路についての理解を深めさせるために、体験学習・学校説明会への参加案内発行や進路 説明会開催などによる進路情報の提供、進路資料を活用した学級活動や進路相談を行う。		
指標 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「提供された進路の情報をきちんと理解できて いる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 51%以上にする。		

・令和7年度の学校生活アンケートにおける「教育相談や進路相談などで気軽に相談しやすい先生がいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を48%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・	
今後への改善点	
【目標設定】について ・	
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】(学-6) 1年生での「職業講話」、2年生での「職場体験」、3年生での「プレハイスクールセミナー(出前授業)」という系統的なキャリア教育を通じて、将来の進路や生き方について考えさせ、社会の一員としての在り方や興味・関心に基づく勤労観・職業観を育成する。	
指標 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「将来の進路や生き方について考えたことがある」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を61%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・	
今後への改善点	
【目標設定】について ・	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 (第1学年)	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】(学-2・6) 道徳授業、学年集会、日々の学活等の様々な体験学習を通じ、素直な気持ちを育むと共に、他を思いやる心を育てる。	
指標 ・令和7年度の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおいて「学校行事や体験活動は積極的に取り組んでいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を56%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・	

今後への改善点	
【目標設定】について ・	
取組内容②【基本的な方向 2 豊かな心の育成】(学-2) ルールや時間を守り、元気よくあいさつのできる生活態度を持つ集団を育成する。	
指標 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおいて、「学校のきまり・規則を守っていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 67%以上にする。 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおいて、「あいさつなどを積極的に行っている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 66%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について ・	
【取組内容】について ・	
今後への改善点	
【目標設定】について ・	
取組内容③【基本的な方向 2 豊かな心の育成】(学-2) 班活動・委員会活動などを通して、よりよい人間関係を築き、自主的に行動する態度を育成する。	
指標 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおいて、「より良い人間関係を築くために努力をしている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 66%以上にする。 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおいて「生徒会活動や委員会活動、学級の係活動に積極的に参加している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 53%以上にする	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について ・	
【取組内容】について ・	
今後への改善点	
【目標設定】について ・	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 (第2学年)	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 2 豊かな心の育成】(学-2) 集団生活における基本的な生活習慣を身につけ、ルールを守り、正しい判断と行動ができる態度を育成する。集団生活における基本的な生活習慣を身につけ、ルールを守り、正しい判断と行動ができる態度を育成する。	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を71%以上にする。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「あいさつなどを積極的に行っている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を73%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【取組内容】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
今後への改善点	
<p>【目標設定】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】(学-2・6)</p> <p>一人ひとりが目標を持ち、すべての授業・班活動・係活動・委員会活動・学年集会を通じ、前向きな生活態度・学習態度を育成する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の学校生活アンケートにおいて「学校行事や体験活動は積極的に取り組んでいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を67%以上にする。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおいて「生徒会活動や委員会活動、学級の係活動に積極的に参加している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を59%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【取組内容】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
今後への改善点	
<p>【目標設定】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】(市-1 学-5)</p> <p>中学校の一員としての自覚を持たせ、互いの個性を尊重し、信頼しあえる人間関係を育成する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおいて、「より良い人間関係を築くために努力をしている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を68%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【取組内容】について</p>	

・
今後への改善点
【目標設定】について
・

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（第3学年）		進捗状況
取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】（学-2） 集団生活における基本的な生活習慣を身につけ、ルールを守り、正しい判断と行動ができる態度を育成する。		
指標 ・今年度の学校生活アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を74%以上にする。 ・今年度の学校生活アンケートにおける「あいさつなどを積極的に行っている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を61%以上にする。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・		
今後への改善点		
【目標設定】について ・		
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】（市-1 学-5） 中学校の一員としての自覚を持たせ、互いの個性を尊重し、信頼しあえる人間関係を育成する。		
指標 ・今年度の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ・今年度の学校生活アンケートにおいて、「より良い人間関係を築くために努力をしている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を57%以上にする。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・		
今後への改善点		
【目標設定】について ・		
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】（学-2・6） 一人ひとりが目標を持ち、すべての授業・班活動・係活動・委員会活動・学年集会を通じ、前向きな生活態度・学習態度を育成する。		

指標 ・今年度の学校生活アンケートにおいて「将来の進路や生き方について考えたことがある」に対して、際も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 52%以上にする。 ・今年度の学校生活アンケートにおいて「自ら学ぶように努力している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 33%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】 について ・ 【取組内容】 について ・	
今後への改善点	
【目標設定】 について ・	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（校長経営戦略支援予算基本）	
取組内容①【基本的な方向 2 豊かな心の育成】（学－1） 1 年、2 年の校外学習、3 年の修学旅行における活動を通じて、互いに協力し、支えあい、認め合う姿勢を養い、安全・安心な学校生活を築く。	進 捗 状 況
指標 ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおいて「より良い人間関係を築くために努力している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 67%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】 について ・ 【取組内容】 について ・	
今後への改善点	
【目標設定】 について ・	
取組内容②【基本的な方向 2 豊かな心の育成】（学－12） 文化発表会や日々の授業において、鑑賞や体験学習などの中で、歴史文化や伝統ある文物に触れ、表現の豊かさや美しさ、すばらしさを感じとることで感性や情操を高める。	
指標 ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「鑑賞や体験学習（行事や授業など）を通じて、芸術や伝統文化のすばらしさや大切さを感じることができた」に対して、最も肯定的に答える生徒の割合を 59%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】 について ・ 【取組内容】 について ・	
今後への改善点	

【目標設定】について .

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 (管理職)	
取組内容①【基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の育成】(学一8) 各種行事や PTA 活動等を通じて開かれた学校づくりを推進し、学校・家庭・地域が相互に協力する体制を構築する。	進 捗 状 況
指標 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「参観等の各種行事や PTA 活動などを通じて、学校教育活動に参加しようとしている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える保護者の割合を 33%以上にする。また、令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「学校行事や PTA 活動、部活動等の場面で、保護者や地域に関わる取組を行っている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 71%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について . 【取組内容】について .	
今後への改善点	
【目標設定】について .	

大阪市立東中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル（英検3級）相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を83%以上にする。【本市調査（大阪市英語力調査）】（誰一人取り残さない学力の向上） 2. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女とも前年度より0.02ポイント向上させる。【全国体力運動能力、運動習慣等調査】（健やかな体の育成） 3. 今年度の学校生活アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と答える生徒の割合を54%以上にする。 4. 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.04ポイント向上させる。 5. 今年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える生徒の割合を56%以上にする。 6. 今年度学校生活アンケートにおける「習熟度別少人数授業の授業はわかりやすい」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を56%以上にする。 7. 今年度の学校生活アンケートにおける「思考力・判断力・表現力・読解力の育成のため、言語活動を取り入れるなど授業改善に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を73%以上にする。 8. 今年度の学校生活アンケートにおける「調べ学習や資料提示等を通じて、学校図書館を活用した授業づくりを進めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を43%以上にする。 9. 今年度の学校生活アンケートにおける「英語の授業でのアクティビティに積極的に取り組んでいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を58%以上にする。 10. 今年度の学校生活アンケートにおける「学校は1人1台端末などのICT機器を活用した学習活動の実践に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を73%以上にする。 11. 今年度の学校生活アンケートにおける「技術・家庭科技術分野の授業におけるプログラミング学習において、論理的に考えるための手順を学ぶことができた」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を63%以上にする。 12. 今年度の学校生活アンケートにおける「帰国・来日等の生徒や外国にルーツのある生徒が学校生活を円滑に送れるよう、日本語指導をはじめとする直接的な支援をするとともに、違いを尊重し認め合えるよう配慮しながら教育活動を進めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を78%以上にする。 13. 今年度の学校生活アンケートにおける「体力や運動能力向上のため、保健体育の授業に積極的に取り組んでいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を72%以上にする。 14. 今年度の学校生活アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりし、健康に気をつけている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を72%以上にする。 	

にする。 15. 今年度の学校生活アンケートにおける「栄養バランスや食べる時間・量等を考えて食事をするように心がけている。」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 50%以上にする。	
---	--

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（教務部）		進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（市-1 学-2） 言語活動の取り組みをすべての教科で取り入れ、思考力・判断力・表現力・読解力の育成を図り、学力向上に生かす。		
指標 ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「思考力・判断力・表現力・読解力の育成のため、言語活動を取り入れるなど授業改善に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 73%以上にする。 ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「学校の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と答える生徒の割合を 54%以上にする。 ・言語活動を取り入れた授業を、すべての教科で、年 1 回の公開授業において行う。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・		
今後への改善点		
【目標設定】について ・		
取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（市-2・3） 授業の予習・復習等に活用できる家庭学習教材を作成、提供し、自主学習の習慣を定着させる。自ら学ぶ態度を養い、学力の向上を図る。		
指標 ・家庭学習教材を授業ごとに提供する。 ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおいて「自ら学ぶよう努力している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を昨年度と同等（38%）以上にする。 ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「自ら学ぶ方法や家庭学習の習慣を身につけさせるために、保護者に対して様々な働きかけをしている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を昨年度と同等（42%）以上にする。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・ 【取組内容】について		

・	
今後への改善点	
【目標設定】について	
・	
取組内容③【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（市-2・3） 教科の年間指導計画及びシラバスを作成し実践する。	
指標 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおいて「教科の年間指導計画や指導案を作成し、実践するとともに、教材を工夫し、授業改善を行っている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を昨年度と同等（70％）以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について	
・	
【取組内容】について	
・	
今後への改善点	
【目標設定】について	
・	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（国語科）		進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（市－2） 国語を適切に表現し、自主的、意欲的に理解を深められるような、授業内容の創造と教材づくりを行う。		
指標 ・ 令和 7 年度の中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度（3 年 1. 11、2 年 1. 11）より向上させる。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・		
【取組内容】について ・		
今後への改善点		
【目標設定】について ・		
取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（学－1・2） 計画的に習熟度別授業を実施することにより、「個に応じた教育」を進め、学力向上へとつなげる。		
指標 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「思考力・判断力・表現力・読解力の育成のため、言語活動を取り入れるなど授業改善に努めている」に対して、最も肯定的な「当		

<p>てはまる」と答える教職員の割合を 51%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「習熟度別少人数授業はわかりやすい」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える児童(生徒)の割合を 51%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【取組内容】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
今後への改善点	
<p>【目標設定】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
<p>取組内容③【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】(市-1 学-3)</p> <p>国語を学ぶ上で基礎基本となる語彙力を高め、言語を通した思考力を育成する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字能力検定試験を、希望者を対象に年に 1 回を目安に、校内で実施する。漢字学習の動機づけとするとともに、中学校配当漢字を網羅した漢字能力検定への取組を通じて、語彙力を向上させる。また、受検の有無に関わらず、語彙力を向上させ、「漢字を文や文章の中で使うことのできる力」を身につけさせる。 ・ 自分の考えを言語で表現できる授業展開を工夫し、学校生活アンケートで「授業終了まで授業に集中していた」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合について、昨年度と同等以上(51%)にする。 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「調べ学習や資料提示等を通じて、学校図書館を活用した授業づくりを進めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 42%以上にする。 ・ 図書室の資料を利用した授業を全学年で実施する。資料等を活用し、自分の思考をまとめ、表現する方法を身につけさせる。また、ビブリオバトル大会の実施や本の紹介文を書くなどの取り組みを行い、読書活動の推進を図る。 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答した生徒の割合を前年度(50%)より増加させる。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【取組内容】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
今後への改善点	
<p>【目標設定】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（社会科）		進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（市－2） 単元ごとの復習プリントを活用し、授業の内容を確認させ、さらなる学習理解をはかり、基礎的・基本的な学力の向上を図る。		
指標 ・ 令和 7 年度の 3 年中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、前年度（3 年 1.06）より向上させる。 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「社会の授業に主体的に取り組んでいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 63%以上にする。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・		
今後への改善点		
【目標設定】について ・		
取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（学－7） 国内だけでなく、国際社会に起こる社会的事象に対する興味・関心を高め、国際社会において生き抜く力を育成する。		
指標 ・ 日本や世界の諸地域を比較し関連付けて、様々な社会事象を資料から多面的・多角的に判断するとともに、それらを基に説明や議論ができるように養う。また、令和 7 年度の学校生活アンケートにおいて「社会事象に興味・関心を持つようになった」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 50%以上にする。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・		
今後への改善点		
【目標設定】について ・		
取組内容③【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（市-1、学－2） 調べ学習や課題解決を通して自分の考えを深めたり、広げたりする学習を行い、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		
指標 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「思考力・判断力・表現力・読解力の育成のため、言語活動を取り入れるなど授業改善に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 70%以上にする。 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおいて「学校の生徒との間で話し合う活動を通じて、		

自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に答える生徒の割合を、前年度（53％）より増加させる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・	
今後への改善点	
【目標設定】について ・	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（数学科）		進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（市－1・2） 基礎的・基本的な概念や知識の定着をめざすとともに、数学的活動を通して思考力・判断力・表現力の育成を図る。		
指標 ・令和 7 年度の 3 年中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、前年度（2 年 1. 11）より向上させる。 ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「学校の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を、前年度（53%）より増加させる。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・		
【取組内容】について ・		
今後への改善点		
【目標設定】について ・		
取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（学－1） 計画的に習熟度別授業を実施することにより、「個に応じた教育」を進め、学力向上へとつなげる。		
指標 ・習熟度別少人数授業を通年で計画的に実施する。 ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「数学の習熟度別少人数授業はわかりやすい」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を、前年度（53%）より増加させる。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・		

【取組内容】について ・
今後への改善点
【目標設定】について ・

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（理科）		進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（市-2） 自然現象に対して自主的、意欲的に理解を深められるような、授業内容の創造と教材づくりをおこなうとともに、演示実験やプリント教材を有効に活用し、基礎的・基本的な学力の向上を図る。		
指標 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「理科の実験・観察などの授業に興味を持って参加している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 66%以上にする。 ・ 令和 7 年度の 3 年中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、前年度（1.12）より向上させる。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・		
今後への改善点		
【目標設定】について ・		
取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（市 - 1 学-2） 実験・観察を多く取り入れことにより、理科に対する興味・関心を高め、様々な自然現象について論理的に説明する能力を育成する。		
指標 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「理科の学習に主体的に取り組んでいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 55%以上にする。 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「思考力・判断力・表現力・読解力の育成のため、言語活動を取り入れるなど授業改善に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 71%以上にする。 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を、前年度（53%）より増加させる。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について		

<ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【取組内容】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・
今後への改善点
<p>【目標設定】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（音楽科）		進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】(学-2) 基礎発声の継続的な練習と、感性を育て表現力を培うためのよりよい教材の精選、生徒の興味・関心を生かした意欲的な学習を行う。		
指標 ・学期に1回、歌唱もしくは器楽の実技テストを行い、表現活動における個々の次の目標設定に役立てる。 ・令和7年度学校生活アンケートにおける「音楽の授業に積極的に参加できた」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を63%以上にする。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・		
今後への改善点		
【目標設定】について ・		
取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】(市-1) 幅広い音楽分野の表現と鑑賞活動により、多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じとり、表現の創意工夫につなげていく。		
指標 ・全学年とも学期に一回鑑賞を行う。 ・令和7年度学校生活アンケートにおける「集中して音楽を聴くことができた」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を65%以上にする。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を、前年度（49%）より増加させる。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・		
今後への改善点		

【目標設定】について ・

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（美術科）	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（学一2） 発想力を豊かにし、知識・技能の向上に努め、意欲的に表現活動に取り組む態度を育てるため、取組内容や教材を精選する。</p> <hr/> <p>指標 ・すべての題材で言語活動の充実を図り、振り返り用のプリントを利用して学習内容の定着を図る。 ・令和7年度末における学校生活アンケートで「美術の授業に積極的に参加できた」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合について、全体の67%以上にする。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「思考力・判断力・表現力・読解力の育成のため、言語活動を取り入れるなど授業改善に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を71%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について ・</p> <p>【取組内容】について ・</p>	
今後への改善点	
【目標設定】について ・	
<p>取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（市-1） 造形的なよさや美しさ、素材の生かし方、作者の心情や意図と造形的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わう力を養うため、鑑賞活動の充実を図る。</p> <hr/> <p>指標 ・各学年において、鑑賞活動を主とした単元を前後期各1回ずつ行う。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を、53%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について ・</p> <p>【取組内容】について ・</p>	
今後への改善点	
【目標設定】について ・	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（保健体育科）	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 5 健やかな体の育成】（学－8）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初、男女共修での集団育成を重点的に行い、授業規律の確立、授業への意識の向上を図る中で授業効率を高め、運動量の確保に取り組む。 ・教科書やワークシートで知識の理解を深め、体育館に設置された ICT 機器を最大限に活用し、視覚的にもわかりやすい授業展開を図る。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年度に校内で実施をする第 2 学年の体力テストにおいて、令和 7 年度全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点を全国平均以上にする（昨年度、男子は 0.89 ポイント、女子は 23.2 ポイント全国平均を下回った）。 ・体力テストの実施に向けて、自己の昨年の記録をもとに今年の目標を設定させることで、意欲的に体力テストに臨む姿勢を育てる。 ・令和 7 年度に校内で実施をする第 2 学年の体力テストにおいて、令和 7 年度全国体力・運動能力、運動習慣調査における段階別総合評価（A～E）の内、AB の割合を男子 35% 以上、女子 40% 以上にする。 ・令和 7 年度に校内で実施をする第 2 学年の体力テストにおいて、令和 7 年度全国体力・運動能力、運動習慣調査における段階別総合評価（A～E）の内、DE の割合を男子 30% 以下、女子 20% 以下にする。 ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「体力や運動能力向上のため、保健体育の授業に積極的に取り組んでいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 60% 以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】（学－8）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力テスト・体育大会・マラソン大会・球技大会を日頃の体育の授業や部活動での成果を発揮する場として位置づけ、体育委員会を中心とした主体的活動に取り組む。 ・体育大会実行委員会活動や縦割り活動を積極的に行い、学年間の交流を深め、主体的に行事や授業に取り組ませることで効果的な伝承を図る。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える生徒の割合を 55% 以上にする。 ・令和 7 年度の後期学校生活アンケートにおける「学校行事である体育大会では自分の力を十分に発揮できる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 60% 以上にする。 ・令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 50% 以上にする。 ・体育委員会による昼休みの「ボールの貸し出し」活動を本年度も年間を通して実施し、主体的に運動に親しむ機会を設ける。 ・夏休みの水泳指導を実施する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について	

<ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【取組内容】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・
今後への改善点
<p>【目標設定】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（技術・家庭科）		進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】(学-5) ICT機器を活用した学習活動を通して、基礎的・基本的な内容の定着を図る。		
指標 ・令和7年度の学校生活アンケートで「授業に積極的に取り組み、基礎的な知識や基本的な技術が身についた」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合について、全体の52%以上にする。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「学校は1人1台端末などのICT機器を活用した学習活動の実践に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を66%以上にする。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・		
今後への改善点		
【目標設定】について ・		
取組内容②【基本的な方向 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】(市-1学-2) 工夫し創造する能力の育成をねらい、言語活動を取り入れた授業実践を行う。		
指標 ・3カ年の指導計画を見通しながら、各領域で少なくとも1回は言語活動を取り入れた授業実践を行う。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「思考力・判断力・表現力・読解力の育成のため、言語活動を取り入れるなど授業改善に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を71%以上にする。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を、前年度(53%)より増加させる。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・		

【取組内容】について	
・	
今後への改善点	
【目標設定】について	
・	
取組内容③【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】(学—6)	
技術分野の学習において、論理的思考を促す授業展開を行う。	
指標	
・ 令和 7 年度の学校生活アンケートで「技術家庭科（技術分野）の授業におけるプログラミング学習において、論理的に考えるための手順を学ぶことができた」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 67%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について	
・	
【取組内容】について	
・	
今後への改善点	
【目標設定】について	
・	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（英語科）		進捗状況
取組内容① 【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（市-3） 英語での表現活動を多く取り入れることにより、表現力を育成する。		
指標 ・ 令和 7 年度の中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度（3 年 1.25、2 年 1.23）より向上させる。 ・ 大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を昨年度以上にする。（昨年度 83％）		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・		
【取組内容】について ・		
今後への改善点		
【目標設定】について ・		
取組内容② 【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（学-1） 個に応じた指導方法を工夫し、基礎的・基本的な学力の向上を図る。		
指標		

・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「ティームティーチングの授業や習熟度別少人数授業はわかりやすい」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 51%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・	
今後への改善点	
【目標設定】について ・	
取組内容③ 【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（市-3 学-4） 英語を活用する実践的な力と積極的な態度を育成する。	
指標 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「学校の生徒との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 51%より増加させる。 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「英語の授業でのアクティビティに積極的に取り組んでいる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 51%以上にする。 ・ C-NET(大阪市外国人英語指導員)の授業を、各学級あたり年間で 15 時間程度実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・	
今後への改善点	
【目標設定】について ・	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（日本語教室）	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（学-7） 海外から日本語が全く分からない状態で編入学してくる生徒が、日本語の特別な教育課程での学びを通して、日本語での授業に参加できるようにする。	
指標 ・ 今年度の学校生活アンケートにおける「帰国・来日等の生徒や外国にルーツのある生徒が学校生活を円滑に送れるよう、日本語指導をはじめとする直接的な支援をするとともに、違いを尊重し認め合えるよう配慮しながら教育活動を進めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 78%以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>【年度目標】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【取組内容】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・
今後への改善点
<p>【目標設定】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（健康教育部）	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 5 健やかな体の育成】（学-9）</p> <p>生涯にわたり健康な心身を保持増進できるように、生活習慣や自己管理能力を身につけさせる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健指導（保健だより・健康教室の開催など）を各学期に1回、定期的に行う。 ・ポスター掲示、プリントの配布などを通して、啓発活動を行う。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりし、健康に気をつけている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を68%以上にする。（67%） 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【取組内容】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
今後への改善点	
<p>【目標設定】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
<p>取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】（学-10）</p> <p>望ましい食生活を身につけさせ、「食」への意識を向上させる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の『食育だより』を通じて、生徒や保護者に「健康や体力を保持増進する力」を育成する。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「栄養バランスや食べる時間・量等を考えて食事をするように心がけている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を45%以上にする。（44%） 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【取組内容】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	

今後への改善点
【目標設定】について ・

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（給食運営委員会）	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 5 健やかな体の育成】（学-10） 「食に関する指導の全体計画」を策定し、学校全体で食育に取り組む。	
指標 ・ 令和 7 年度の学校生活アンケートにおける「給食は残さず食べている」という項目に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 74%以上にする。（前回 73%）	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について ・	
【取組内容】について ・	
今後への改善点	
【目標設定】について ・	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（人権道德委員会）	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 2 豊かな心の育成】（学一7） 基本的な道德指導や人権尊重の姿勢について教職員が理解を深められるように、研修等の情報提供を行う。また、帰国・来日等の生徒や外国にルーツのある生徒についての情報共有や支援を適宜行い、違いを尊重し認め合える教育活動を展開していく。	
指標 ・ 人権教育実践交流会、道德学習会の参加を呼び掛ける。また、人権道德関係の研修案内や通信の配付、ポスター掲示、回覧等で情報提供を適宜行う。 ・ 令和7年度の学校生活アンケートにおいて「帰国・来日等の生徒や外国にルーツのある生徒が学校生活を円滑に送れるよう、日本語指導をはじめとする直接的な支援をするとともに、違いを尊重し認め合えるよう配慮しながら教育活動を進めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を昨年同等以上にする。（昨年度77%）	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・	

今後への改善点
【目標設定】について ・

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（校長経営戦略支援予算基本）	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】（学-2）</p> <p>「地域探訪」と銘打った班別フィールドワークを実施し、地域の歴史や伝統文化に触れながら郷土大阪を愛する心を育み、地域社会へ貢献する態度と意識を養う。また、事前活動や当日の活動では、地域の歴史や伝統文化について班で調べ、体験した内容を様々なスタイルを用いてプレゼンテーションすることで、総合的読解力の醸成とともに学力向上とをねらう。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者や社会との関係だけではなく自己と対話をしながら自らの考えを深め、地域という自分自身の基盤の中で行動していくきっかけとするべく、班別フィールドワークを実施する。 ・課題発見・解決能力や論理的思考力、コミュニケーション能力、多様な観点から考察するために、ICT 機器を利用した調べ学習などを行う。この活動を通して、令和7年度の学校生活アンケートにおける「学校は1人1台端末などのICT機器を活用した学習活動の実践に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を73%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について</p> <p>・</p> <p>【取組内容】について</p> <p>・</p>	
今後への改善点	
<p>【目標設定】について</p> <p>・</p>	

大阪市立東中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>1. 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の半数を超える。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕（教育 DX の推進）</p> <p>2. 教員の勤務時間の上限に関する基準（基準2）を満たす教職員の割合（%）を 54%以上にする。【本市独自調査】（人材の確保・育成としなやかな組織づくり）</p> <p>3. ICT の活用に関する目標を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の学校生活アンケートにおける「学校は1人1台端末などの ICT 機器を活用した学習活動の実践に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 73%以上にする。 ・今年度の学校生活アンケートにおける「インターネットや SNS を正しく安全に利用することができる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 72%以上にする。 ・今年度の学校生活アンケートにおける「学校はいじめ・不登校などの防止対策として ICT を活用している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 72%以上にする。 ・今年度の学校生活アンケートにおける「学校の様子は、ホームページや学年だよりなどでよく知ることができる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える保護者の割合を 59%以上にする。 <p>4. 教職員の働き方改革に関する目標を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日を月1回程度設定し、この日の時間外勤務時間を可能な限り減らす。 ・4～11月の8か月間において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の時間外勤務時間に関して（基準2）を満たす教員の割合を 54%以上にする。 ・令和7年度の4月～11月までの8か月間の時間外勤務時間において、教員全体で Lv4 の割合を前年度より半減させるとともに Lv2 以上の月のある教員一人一人が前年度の各月の時間外勤務時間のレベルを下げる月の回数を増やす。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（教務部）		進捗状況
取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）】（市-1） 個別最適な学びの推進に向けて、1人1台端末を活用した学習活動を実践する。あわせて、ICT 機器の整備と効率的な運用を図る。		
指標 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「学校は1人1台端末などの ICT 機器を活用した学習活動の実践に努めている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 66%以上にする。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「1人1台端末を用いて、毎日心の天気の入力を行ったり、もしくは授業などで端末を活用している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答えた生徒の割合を 78%以上にする。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・		
今後への改善点		
【目標設定】について ・		
取組内容②【基本的な方向 6 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）】（市-1） 情報活用能力の育成に向けて、情報を正しく安全に利用できるように情報モラル教育について取り組む。		
指標 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「インターネットや SNS を正しく安全に利用することができる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える生徒の割合を 72%以上にする。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【年度目標】について ・ 【取組内容】について ・		
今後への改善点		
【目標設定】について ・		
取組内容③【基本的な方向 6 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）】（市-1） 子どもの理解を深めるとともに、いじめ・不登校などの未然防止・早期発見・迅速な対応を実現するため、心の天気・いじめアンケートなどを活用する。		
指標 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「学校はいじめ発見や、不登校などの生徒に対して ICT を活用して支援している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 66%以上にする。		

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について	
・	
【取組内容】について	
・	
今後への改善点	
【目標設定】について	
・	
取組内容④【基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】（市-1） 学校ホームページや保護者メールなどを活用し、東中学校の教育内容を広く保護者や地域に理解してもらう。	
指標 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「学校の様子は、ホームページや学年だよりなどで知ることができる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える保護者の割合を 56%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について	
・	
【取組内容】について	
・	
今後への改善点	
【目標設定】について	
・	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（管理職）	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】（市-1） 学校ホームページや保護者メールなどを活用し、東中学校の教育内容を広く保護者や地域に理解してもらう。（再掲）	
指標 ・令和7年度の学校生活アンケートにおける「学校の様子は、ホームページや学年だよりなどでよく知ることができる」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える保護者の割合を59%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について ・	
【取組内容】について ・	
今後への改善点	
【目標設定】について ・	

<p>取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】（市-2） 教職員の働き方改革に関する目標を設定する。 大阪市が策定した「学校園における働き方改革推進プラン」に則って、学校現場の負担軽減に向けた様々な取組を推進する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4～11月の8か月間において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の時間外勤務時間に関して（基準2）を満たす教員の割合を54%以上にする。 ・令和7年度の4月～11月までの8か月間の時間外勤務時間において、教員全体でLv4（100時間超）の割合を前年度より半減させるとともに、Lv3（80～100時間）、4の月のある教員の割合を18%以下にする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【年度目標】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【取組内容】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
<p>今後への改善点</p>	
<p>【目標設定】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	

大阪市立東中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【その他】 1. 今年度の学校生活アンケートにおける「校内研修は教育実践に役立つ有益なものとなっている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を64%以上にする。 2. 今年度の学校生活アンケートにおける「校区小学校と連携する機会を設け、小中の円滑な接続に努めるとともに、学習活動や生活指導等の場面で活用している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を64%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（教務部）	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】（学-1） 学校目標や今日的課題を含めた諸課題に基づき、各種の校内研修会を実施する。よりよい教育方法の研究に努め、教育活動実践上の様々な課題について研修を深める。	
指標 ・学校目標や今日的課題を含めた諸課題に係る研修を学期に1回実施する。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおいて「校内研修は教育実践に役立つ有益なものとなっている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を64%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】 について ・ 【取組内容】 について ・	
今後への改善点	
【目標設定】 について ・	
取組内容②【基本的な方向5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】（学-1） 公開授業週間を設けて、他教科の授業見学も行い、全教員が互いの指導力向上をめざして研鑽を積む。	
指標 ・公開授業週間を年1回実施し、全教職員が行う。 ・公開授業の見学参加者数を全教職員、2回は公開及び見学するものとする。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおいて「教員間で授業方法についての意見交換し、指導内容・指導方法についての意見交換や話し合いを日常的に持ち、工夫と改善	

<p>を行っている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を昨年度と同等（63％）以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【年度目標】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【取組内容】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
<p>今後への改善点</p>	
<p>【目標設定】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
<p>取組内容③【基本的な方向 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】（学-2） 小中の交流を深めるために、小中合同で研修会などを実施する。また、小中学校での相互授業参観や授業研究を実施することで、生活指導や学習指導方法の改善に役立てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中連携担当者会議を実施する。 ・小中学校での相互授業参観や授業研究を実施する。 ・令和7年度の学校生活アンケートにおいて「校区小学校と連携する機会を設け、小中の円滑な接続に努めるとともに、学習活動や生活指導等の場面で活用している」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と答える教職員の割合を 64%以上にする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【年度目標】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【取組内容】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	
<p>今後への改善点</p>	
<p>【目標設定】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	